

m a e n o h a

maekawa living magazine まえのは

2024

—
秋
冬
号

自然に溶け込む、心ほどける。





右／「Namerikawa Granvilla Grappau」のデッキスペースで豊かな自然を満喫する藤原さん(左)と前川。県内外からお客が訪れ、リピーターが多いのも頷ける。レンタカーを借りてまで訪れる人も多いそうだ。左／すべての客室に設置されている本格フィンランド式サウナ。滞在中は24時間いつでも気軽に体験できる。

タイプだが、藤原さんは冬場の積雪などを考慮し、四季を通して快適なヴィラタイプを選択した。1棟貸切型の客室には半露天風呂やサウナ、食事スペース、ベッドなどが設置され、カップルやグループ、ファミリーなど大切な人たちとプライベートな時間を満喫できる。隣の棟とは距離があるため、小さいお子さん連れのファミリーが安心して利用できるのもいい。また、2組の家族がそれぞれに1棟を貸し切り、ご飯は1つの空間で一緒に、寝る時は別々というふうに活用することも可能だ。

藤原さんは、26歳の時に自ら設立した株式会社藤原重機の代表取締役でもある。建設業に力を注ぐ中、初めて宿泊業に取り組んだのは、自身の中で長く温め続けている構想を形にするためだった。「昔からずっと岐阜県にある『ひるがの高原 牧歌の里』が好きで、大自然を満喫できる場所を富山にも作りたいと思っていたんです」と語る。県内で夢を実現できそうな土地を探していた時に偶然出会ったのが、滑川市の山間地だった。その原風景に惹かれたことが、グラッパ誕生のきっかけだ。



藤原 宜紀

滑川市大林／Namerikawa Granvilla Grappa

あのひと
の暮らし

訪ねた人：前川 守

木の香 株式会社 前川建築 代表取締役

富山では、この土地ならではの歴史や風土を受け継ぎながら、日々、新しいまちの魅力が創り出されています。前川建築のスタッフが、仕事や暮らしの中で出会った魅力的な方たちを紹介するこのコーナー。

第7回は、滑川市にあるグランピング施設「Namerikawa Granvilla Grappa(以下、グラッパ)」の運営事業などを展開している株式会社ONE DIVE(ワンダイブ)の代表・藤原宜紀さんを、前川建築代表取締役社長、前川守が訪ねました。

背には立山連峰、正面には田園風景から富山湾、能登半島までが一望できる山間地に、4棟のグランピングヴィラが建つ。それが、グラッパである。グランピングの建物の主流はテント

のどかな山間地を、
誰かと行きたくなる場所へ。



上／サウナボンチョとサウナハットなど、サウナを楽しむためのアイテムも充実。左／サウナの横には、開放感あふれる水風呂も。温かいお湯を溜めてお風呂として利用することも可能だ。





右／2024年5月11日、全室半露天風呂にリニューアルし、贅沢なバスタイムを提供。ゆったりと湯に浸かりながら、大自然との一体感と開放感を味わえる。
上／niwanosoが手がけたお庭がヴィラを彩る。「提案いただいた雰囲気が気に入っています」と微笑む藤原さん。



上／専用の食事スペースでは、地元の食材のおいしさを堪能できる。また、自分たちで食材持ち込んでバーベキューを楽しむことも可能。左／広々とした寝室には、プロジェクターとスクリーンを用意。映画やドラマなどを見ることもできる。



藤原 宜紀
Fujiwara Yoshinori

1978年11月27日、上市町出身。株式会社藤原重機の代表取締役。令和3年に株式会社ONE DIVEを設立。グランピング施設「Namerikawa Granvilla」をはじめ、居酒屋「陣屋」やカフェの運営など幅広く展開している。

業務用のガスコンロを設置するほど料理が好きな藤原さん。先日イベントでは540個の唐揚げを仕込み、注文から30秒以内に提供するというルールを自ら課し、すべて完売させた。揚げたての美味しさは、地域の賑わいに一役買ったといえよう。

2つの会社の代表を務め、多様な事業を展開し、趣味も多い藤原さん。具体的なビジョンを胸に、寝る間を惜しんでフル稼働する毎日だ。「グラッパは現状を維持しつつ、お客様に心地

よく過ごしてもらえるように改良しながらサービスを充実させていきたいと考えています。一方、ONE DIVEとしては、アグリ事業部を立ち上げて、滑川市で作物を育て、立山町で果樹園を作っていくかと思っています。そしていつか「牧歌の里」のような花畑を作りたいですね」と語る。「飛び込む」という意味を持つ社名どおり、新たなことに果敢に挑む藤原さんは、富山に元気の種を蒔き続けていく。🍷

「いい土地を見ると活用したいというワクワクセンサーが働くのですが、ここは想像以上にいい場所でした。昼も夕焼けも夜景も美しく開放的。この景色を見ながら飲むお酒は一味違いますね」と微笑む。

普段は、別の行きつけのお店でお酒を楽しむこともある。そんな時に共に過ごす仲間が、前川だ。お店で何度か顔を合わすうちに、自然と約束をして会う間柄になったという。「ざっくりいろんないろいろなことを話していますよね」と前川がにこやかに話すと、「2人ともバイクに乗るので、今度一緒にツーリングに行きたいねと言っているんです」と藤原さんも笑顔で返す。

プライベートだけでなく、前川建築とniwanosoが藤原さんの自宅と庭、グラッパの庭を手がけるなど仕事としてのお付き合いもある。「もともと自宅を建てるなら前川建築さんで思っていました。オリジナリティの

ある木の家に好感を持っています。実際に住んでも心地いいですよ。庭のシンボルツリーも気に入っています」と満足げな表情を浮かべる。

牧歌の里、山間地の原風景、木の家。自然を愛する藤原さんの趣味は、登山である。「稜線に立った時に風にフワッとした肌をなでられるのが、気持ち良くて」と、今年も立山から大日岳、奥大日岳、称名滝、桂台までの25kmを日帰り縦断する予定だ。そのための体力づくりとして、毎週日曜のジョギングは欠かさない。また、スキューバダイビングを目的に沖縄や伊豆へ出かけることもある。「その場所で見られない光景に、ただただ感動しますね」と、自然の中での貴重な体験が彼の活力となっているのだろう。ONE DIVEの事業のひとつとして、上市町で居酒屋「陣屋」を営み、さまざまなイベントにキッチンカーを出店している。自宅のキッチンに

周囲の景観に調和した「Namerikawa Granvilla Grappa」。富山の新たな魅力を発見できる。



Namerikawa Granvilla Grappa

〒936-0815 富山県滑川市大林81-1
<https://www.toyama-glamping.com/>





9 September

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 敬老の日	17	18	19	20	21
22 秋分の日	23 振替休日	24	25	26	27	28
29	30					

10 October

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14 スポーツの日	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11 November

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1	2
3 文化の日	4 振替休日	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23 勤労感謝の日
24	25	26	27	28	29	30

12 December

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

あ の 家 の 住 ま い 方

中新川郡・I様邸
2020年新築

*Housing
Tips*



tips:1

ご主人お気に入りのヴィンテージ家具が、シンプルな空間に深い味わいを醸し出している。



tips:2

お子さんが帰宅時にランドセルなどをかけられるよう、ペグを設置。片付けの習慣が身に付く。



tips:3

ブランコを設置。お子さんの成長に合わせて、ハンモックに付け替えることもできる。



tips:4

階段下の畳スペースは、お子さんの秘密基地。ご夫婦の気配を感じながら安心して遊べる。

一日の始まりを告げる朝日、風に揺れる葉、その鮮やかな緑。I様邸では、LDKに居ながらにして自然を感じられる。大きな窓の向こうは、ウッドデッキとお庭。休日は、そこが家族団欒の場となる。ご主人は、木々の剪定をしたり、水やりをしたりと、庭仕事に精を出す。そのそばで奥様とお子さんが一緒にブランコに乗ったり、本を読んだり、絵を描いたりして、ゆったりと過ごす。「ラグを敷いて椅子を出すだけで、屋外にリビングがひとつ増えるんです」と微笑むご夫婦。最近では、キッチンで作った料理をウッドデッキで食べることが多いそうだ。

庭の一角にあるキッチンガーデンは、ご主人の管轄。I様邸に住んでからハーブや植物を育てるようになり、今はレモンバーベナやワイルドストロベリーなどのハーブを育てている。それらを収穫してハーブティーを作り、夜にゆったり味わうこともあるという。既製品では体験できない贅沢な時間だ。さらに、近所にある小さな畑を借り、野菜やバジル、パセリを植えているご主人。育てる喜びが心の中で大きく育っているようだ。当初、ご夫婦が求めていたのは、手入れのしやすい小さな家だった。そんな時に出会ったのが、このモデルハウスである。

「面積が小さくても、上質な素材が使われ、造りがしっかりしていて理想的」と購入を即決した。あえて空間に余白を設けたシンプルなデザインは、自分たちらしさを足したくなる楽しさがある。そのワクワク感が、空間に深みを増すヴィンテージ家具や、常に美しい「見える収納」という形になっているのだろう。「ここで暮らしてから、家にいることが増えました。庭も畑もあつて満たされています。これからは子どもたちの成長に合わせて変化していきたいですね」と微笑むご夫婦。自然とふれあう喜びが日毎に増え、家族の思い出と笑顔を作っていく。

1 床は無垢材、壁は自然素材と、時間を経るごとに味わいが増す上質な素材が、家族の笑顔を包み込む。2 タイル張りの壁面が目を引きキッチン。一つひとつのお皿やカゴなどの素材と形を揃えて統一感を持たせることが、「見える収納」を成功させるコツだ。3 庭は、外部からの視線を柔らかに遮る目隠しとしても活躍。4 庭の一角にあるキッチンガーデン。「本を買って勉強したり、ホームセンターに行って苗を買ったり。植物を育てられる環境が整ったことがありがたいですね」とご主人。5 ウッドデッキは、玄関土間からもLDKからも出入りできる。使い勝手のいい動線も魅力だ。

スタッフ紹介

MAEKAWAグループのスタッフに、休日の過ごし方や、お気に入りのモノ・コトを聞きました。

Takuya Nanatani

七谷卓也

● 前川建築工務部現場管理

子どもが生まれてから、休日に家族と出かけることが趣味になりました。岩魚の掴み取りを体験し、それを炭火で焼いて食べることが、毎年の恒例行事になっています。子どもの姿を見て成長を実感できるのが嬉しいですね。ただ、一緒に自転車に乗ったり、キャッチボールをしたりする時に体力の衰えを感じることがあって。子どもとの時間を楽しむために、これからは健康管理に挑戦したいと思っています。仕事では「見えないところも丁寧」をモットーに取り組んでいます。自分の身体にもそうありたいですね。



お気に入り

愛用歴4年になる自分専用の枕。好みの高さで柔らかさを保つために、半年に一回は専門店でメンテナンスしているので、快眠できるところが気に入っています。

子どもと今を楽しむために
健やかな身体へ。



Katsutoshi Nakayama

中山克利

● niwanoso 庭師

庭師になって約25年になります。一日の始まりは、朝日を浴びて体内時計のリセット。価格以上の仕上がりを目指して外構工事や植栽工事に励んでいます。庭師になる前から始め、今も続けているのが、MTB。コースでは、時速50〜60kmのスピードで駆け抜けるため、大怪我と紙一重。身を削りながらもやめられないのは、非日常を味わえるからです。子どもが産まれてからはレースへの出場を控えていましたが、今はずいぶん手が離れてきたので、エンデュロレースに挑戦しようかなと思っています。



お気に入り

リーズナブルな四角いスプーン。オーガニックジャムを添えたヨーグルトを食べる際、カップの底の角まできれいにすくえるところがお気に入りの理由です。

庭をつくる日常と
MTBで走る非日常
いずれも大切な時間。



2w
no
s
niwanoso



ホームページ

niwanosoのホームページをリニューアルしました。

Shop、Garden、Weddingそれぞれのコンセプトやイベント情報など掲載しています。ぜひご覧ください。

niwanoso wedding anniversary photo開催

秋の過ごしやすい気候紅葉のお庭でのanniversary photoを撮りませんか？9月、10月、11月に撮影していただける方を募集します。niwanosoの定休日や営業時間を変更して、貸し切りでゆっくりとお庭や店内で撮影を行います。大切な記念日を彩る生き生きとした植物に囲まれながら自然体で過ごす特別な時間をお過ごしください。開催可能日程や詳細はウェブサイトまたはInstagramにてご確認ください。



詳しくはこちら



オーナー様限定
MAEKAWA 感謝祭2024

参加
無料

11/3日 10:00〜15:00二部制(予定)

会場：埜の里(前川建築本社よこ)

今年も一年の感謝の気持ちを込めて、感謝祭を開催します。今回はいつもの餅つきやワークショップに加え、新たなアクティビティも取り入れて、みなさまに楽しんでいただけるよう準備してお待ちしております。詳細についてはマイホームやDMIにて改めてご案内いたします。

編集後記

報告が遅くなりましたが、5月のごらくマーケット(水橋温泉ごくらくの湯)、6月の住まいのEXPO(総曲輪グランドプラザ)でのスマホスタンド作りワークショップの売り上げは、全額を令和6年能登半島地震災害義援金(富山県被災者支援分)に寄付いたしました。被災地の暮らしが平穏を取り戻せるよう心よりお祈り申し上げます。



m a e n o h a 2024 秋冬号

2024年9月1日発行

企画・取材・文／まえのは編集部

編集／広報部

写真／松井 洋貴

イラストレーション／おざわ さよこ

エディトリアルデザイン／ワークス

発行／MAEKAWAグループ

〒930-3221 富山県中新川郡立山町四谷尾691-4

Tel : 076-462-0611

<https://maekawa-kenchiku.com/>



表紙写真：水田の中年建つNamerikawa Granvilla Grappaと富山湾